

# 141 オジロビタキ

(スズメ目)

*Ficedula albicilla*

兵庫県ランク:要調査

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

## 種の概要

日本では近年に渡来が確認されるようになったが、記録も少なく不規則な渡来状況である。兵庫県では主に12-翌2月に記録がある。平地から山地の針葉樹林や広葉樹林に生息するが、都市近郊の緑地や市街地の公園でも越冬個体が観察される。



写真提供:岩崎健二

## 国内分布

北海道、本州、粟島、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、男女群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島

## 県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認

(神戸市)、姫路市、明石市、(西宮市)、(芦屋市)、伊丹市、(豊岡市)、加古川市、三田市、淡路市、稲美町



## 主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

## 県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

県内では1983年12月に西宮市夙川で確認されたのを最初に、以降、断続的に県南部と北部で記録されてはいるが、個体数は極めて少ない。

## 保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、平地の自然環境の残る林で観察例が多いため、そのような環境を平地の都市緑地などで保全・再生することが重要。



写真提供:岩崎健二